

# 機構改革などについて意見交換

## 旧町単位で開催

## 移動行政懇話会

市では、北秋田市のまちづくりや行政課題などについて市民と語り合う移動行政懇話会を8月28日から9月2日にかけて旧町単位で開催し、ふるさと納税制度や来年度予定している機構改革などについて説明するとともに、市民からさまざまな意見や要望を伺いました。その概要をお知らせします。

れ、4会場合わせて約150人の市民が参加しました。

各会場では、市の担当職員が、来年度実施予定の組織・機構改革案とふるさと納税制度周知への協力などについて説明しました。

このうち組織・機構改革については、合川、森吉、阿仁支所をそれぞれ総合窓口センターとし、本庁にも総合窓口課を設置する。建設部と産業部を森吉支所に配置する。税務課を分庁舎に配置することなどにより行政組織の効率化と住民へのサービス提供を図ることを主な内容としています。

また、新たに始まった「ふるさと寄附金・ふるさと納税制度」について協力を求めるとともに、7月に施行した住宅用火災警報器設置推進事業補助金について説明しました。

各会場での主な質問・意見とその回答は次のとおりです。（回答は色文字）

産業部・建設部の移転、支所廃止などで不便になるのではないかと、本所にも総合窓口課を置き、主

な業務についてはそこで対応できるように体制にする。支所はこれまで税務や農林業など本所と同じ事務を行っていたため、非効率だった。総合窓口センターはそれを改めるもの。サービスの質は落とさない。

将来の収支バランスは大丈夫か。これまで実施してきた事業が年々できなくなっていくのではないかと。平成32年までの減額分が約20億なので、歳出も同額の削減を図る。その主なものは職員の削減による人件費の抑制で、その他の事業については極端な縮小はない。

災害時、県立高校など県の施設は避難所として利用できないのか。現在、県や国、民間施設もあわせ避難所として利用できるよう手続を進めている。

阿仁支所に観光課を配置し観光行政の充実を。

森吉山観光に重点を置き四季美術館に案内窓口を設置している。限られた職員で効率的に対応するために集中管理方式としたので理解いただきたい。

高度医療に対応できる医師の確

市を支えきれない。雇用は、企業誘致などでの取り組みを進める。

教育委員会の義務教育課と高校教育課が統合されるようだが、学校統合を控えた重要ときに、大丈夫か。

23年4月の高校の統廃合を見越しての機構改革で影響はない。小学校の統合について、合川地区から早めてほしいという声があり、検討したい。

火災警報器はもっと安くならないか。必ず設置しなければならぬのか。

安く、早く設置できるように、共同購入を勧めている。価格は3千500円から4千円程度。警報器に対しての補助制度は、北秋田市のみが行っているもの。地元業者にも定価の半額程度で提供できるようにと交渉している。設置については23年5月31日までの設置が法律で義務付けられている。

（合川地区）有線放送による火災等の情報提供をお願いしたい。4月に要望があったので、有線放送による情報提供をしています。萩形ダムの放流についてもできるだけ対応している。

4会場で約150人が岸部市長らと意見交換

今回の懇話会は、来年度予定されている組織・機構改革や市の財政状況、新たに始まったふるさと納税制度などを説明するとともに、行政への意見要望を伺う機会として各地区で開催したものです。

中央公民館 8月28日、阿仁ふるさと文化センター（同29日）、森吉コミュニティセンター（9月1日）、合川支所（同2日）の4会場で開催

く伝達する方法として一番身近なものだと考えているが、検討課題としたい。

火災警報器の補助は自治会の世帯全てが揃って申請しないと対象にならないか。

全世帯揃っての申請が望ましいが、そつでなくても補助対象となる。準備の整った世帯が集まったら順次申請し、限りなく設置率を100%に近づけて欲しい。

内陸線米内沢駅の駅舎が老朽化し周辺も荒廃しているのが目についた。住民の手でお客さんを迎え入れる準備や心構え、努力ができないものか。



森吉地区会場

医師の配置も含めて指定管理者に委託することになるが、全国的に医師の確保が課題であり、地元出身の医師の紹介など情報を提供いただきたい。

新設される市民病院は内陸線の駅から不便。シャトルバスの運行を。大野台駅からのバス路線を考えている。大型店への路線についても秋北バスに要請する。

小中学生の内陸線利用はどうなっているか。

相談はしているがまだ具体的に決定していない。

森吉山の通年観光維持のために阿仁ゴンドラを冬期間も運営してほしい。

冬期間の利用見込み等から運営収支はかなり厳しいが県にも支援を要請している。ウインターリゾート社が夏山、紅葉シーズンの運行を再開されるよう期待したい。

市の広報紙は、財政も逼迫しているのだし、月に2回の発行は多い。現在の月2回の発行については監査委員から指摘も受けている。市としては皆さんに情報をいち早